

▶ 会員先行受付: Web 11月20日(月)23:59まで
 ハガキ 11月16日(木)まで※当日消印有効
 ▶ 通常申込受付: 12月5日(火)開始 (Web・電話・窓口)
 お申し込み方法 ▶▶ P.7 ~ お申し込みの前に必ずご確認ください

▶ 現代社会

日本の安全保障問題を考える
 — 顕在化する軍事的脅威を認識することが大原則 —

西村 金一 他
 軍事戦略評論家

コード	240728	定員	30名	単位	1	曜日	水	時間	15:00~16:30	資料配付
受講料	会員 ¥11,664 ビジター ¥13,413	日程	全4回	下記表参照						

- ▶ 目標
- ・近代兵器を用いた戦争を理解する。
 - ・北朝鮮の核兵器・弾道ミサイルの脅威の変化を理解する。
 - ・朝鮮半島有事とその対策を考察する。
 - ・自治体・企業におけるテロ対策を考察する。

▶ 講義概要 日本の安全保障を考えるにあたっては、日本に大きな脅威を与える国家の軍事能力(侵攻能力)や近代兵器を使用した戦闘様相を理解することから始めなければならない。だが、現状では、これらのことが十分に理解されないままに、日本の安全保障はどうすべきかが語

られることが多いようだ。そこで、今回は、近代戦争、北朝鮮の脅威と危機管理、テロの対策について、具体的にはどのような脅威なのか、これらの国やテロ組織が軍事兵器を使って何ができるのか、今後どのように拡大していくのか、日本、自治体、企業への脅威はどのように変化しているのかについて、主に図や表で、時にはプラモデルを使用してわかりやすく解説する。そして、それぞれについて対策を考察する。

▶ ご受講に際して

◆ 軍事情勢の変化によって、講座内容が変更になることがあります。

第1回	1/10	兵器発達の歴史(海軍を中心に)	末次 富美雄 軍事・情報戦略研究所客員研究員
第2回	1/17	北朝鮮の核兵器・弾道ミサイルの脅威の変化	西村 金一 軍事戦略評論家
第3回	1/24	朝鮮半島有事と危機管理	岩切 成夫 軍事・情報戦略研究所客員研究員
第4回	1/31	自治体・企業におけるテロ対策の事例研究	西村 金一 軍事戦略評論家

アジア産業論
 — アジアの成長から日本の将来を考える —

中嶋 聖雄
 早稲田大学准教授

コード	240717	定員	30名	単位	1	曜日	土	時間	13:00~16:30
受講料	会員 ¥5,832 ビジター ¥6,706	日程	全1回	2月 3					

- ▶ 目標
- ・アジア産業の歴史的発展、現状と将来的展望を総合的に把握すること。
 - ・アジア産業研究における社会科学的理論と方法の基礎を学ぶこと。
 - ・上記を達成することによって、近年のアジア産業の成長から日本の将来について考えること。

▶ 講義概要

(1) 19世紀から現在に至るまでの、日本の産業発展の歴史を概観する。
 (2) アジア産業化の「第二波」として、台湾・韓国・香港・シンガポールの産業(「アジア四小龍」)について学ぶ。
 (3) 急速に発展しつつある、中国・ベトナム・インド・その他のアジア地域(「エマージング・エコノミーズ」)について、検討する。
 (4) アジア社会が、産業化を経験することによってどのような変化を遂げてきたのか、議論する。
 (5) アジア産業の発展が、日本を含むより広範な国際関係にどのようなインパクトを与えているのかを考える。

【主な講義内容】

- はじめに：なぜアジア産業について学ぶのか？
- (1) 日本の産業発展
 - ・初期日本モデル [1868~1931]
 - ・植民地経営に伴う初期日本モデルの発展 [1895~1945]
 - ・戦後日本モデル：成長、停滞と新たな展開 [1945~現在]
 - (2) 「アジア四小龍」：台湾、韓国、香港、シンガポール
 - (3) 「エマージング・エコノミーズ」：既存モデルへの挑戦
 - (4) 産業化にともなうアジア社会・文化の変化
 - (5) アジア産業と国際関係の再編成
- まとめと結論：アジアの成長と日本の将来



中嶋 聖雄 講師

文学の心

日本の歴史と文化

世界を知る

芸術の世界

人間の探求

くらしと健康

現代社会と科学

ビジネス・資格

外国語

索引